

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

平成31年 3月 7日 (木)

2 確認箇所

タンクエリア (Bエリア、B南エリア)

3 確認項目

Bエリア及びB南エリアにおけるタンクの設置状況

4 確認結果の概要

Bエリア及びB南エリアにおける溶接型 (完成型) タンクの設置状況を確認した。(前回確認日：平成30年12月19日)

ア Bエリアの状況

- Bエリアには、容量1,330 m³のタンクが10基及び容量770 m³のタンクが27基、合計37基のタンクが設置される計画である。前回、1,330 m³のタンクが5基、770 m³のタンクが12基 (合計17基) 設置されていることを確認しているが、今回770 m³のタンクが新たに13基追設され、合計30基のタンクが設置されていた。(写真1)
- 新設されたタンクの周囲には鋼製の仮堰が設置されており、一部のタンクはALPS処理済水の受入が開始されていた。(写真2)
- コンクリート製の外堰及び内堰は構築中であった。(写真3)
- エリア南東側では、タンクの基礎コンクリートの打設が完了していた。

(写真4)



(写真1) エリア南側の状況



(写真2)

ALPS 処理済水を貯留中であることを示す掲示



(写真3) エリア北側の状況



(写真4-1)
平成30年12月19日



(写真4-2)
平成31年3月7日

イ B南エリアの状況

- ・ 前回、計画どおり容量 1,330 m³ のタンク全 7 基が設置されていることを確認しているが、その 7 基のタンクを囲む内堰の設置は完了しており、外堰が構築中であった。(写真5)
- ・ 内堰内には堰内雨水排水用の柵が設置されており、ポンプで J 1 中エリア堰内へ移送されていた。(写真6)



(写真5)



(写真6) 矢印のとおり排水

- 5 プラント関連パラメータ等の確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。